

インテリアにおけるパターンコーディネートの実証考察 I

小宮容一* 井上徹**

A positive study on pattern-coordination of interior I
KOMIYA Yoichi INOUE Toru

1. はじめに

本論は、1998年から2006年までの9年9回に渡り本学会の大会に発表した「インテリアのパターンコーディネートに関する考察」において一応の結論を得たことを受けて、現実の世にある、建築・インテリアの実例を上げて、実証的に考察するものである。

図表1は、結論として得た「パターンコーディネートA表」である。この表は、壁パターンと床・天井パターンの組合せのインテリアに対し、それを評価する形容語句を付し、一覧表にしたものである。

図1は、調査・研究に用いた床・壁・天井の8種のパターンである。

ここまでの考察で言うパターンは、床・壁・天井に各種仕上げ材によって付された境界線・目地を言ったが、実証・現象の本論においては、開口部、窓サッシ、梁や付け柱のパターンも扱うこととした。

2. 例1: cellular/安田幸一研究施設設計

写真1である。床はカバフローリングの平行線パターン、天井は杉の小梁が床のフローリングと同方向のパターンを構成している。構造上、小梁は短辺方向となる。フローリングはこの梁の方向に、意図として合わされていると考えるべきである。

壁の素材は2種類、コンクリート打ち放しとシナ合板であるが、同寸法の矩形が目地パターンを構成している。明らかに意図的である。

図2は本例の模式パターンである。パターンコーディネート研究の折の図3に相似で、研究用では壁パターンは正方形である。評価は「安定した」インテリアである。本例では横長矩形であり、正方形より更に水平方向、重力方向に安定していると言える。

本例1は、十分にパターンコーディネートを意図し、住まいのインテリアに「安定」「落ち着いた」感覚をもたらした好例である。



図表1. パターンコーディネートA表(パターン&形容語句)

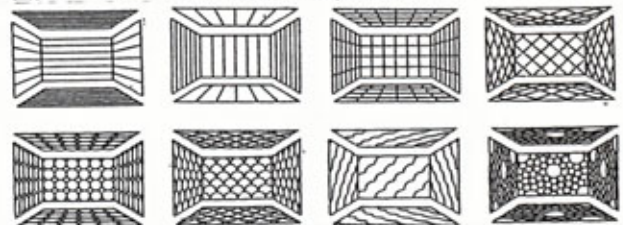


図1. 研究上の床・壁天井の8種パターン



写真1. cellular

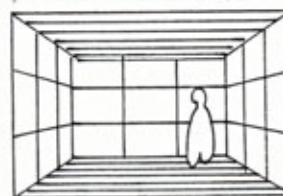


図2. 例1の模式パターン

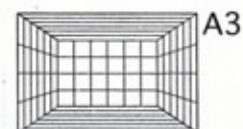


図3. 研究上のA3パターン

3. 例2：三重県立熊野古道センター／戸尾任宏・建築研究所

写真2である。壁は真壁で、柱間で出来る矩形は縦長である。開口部サッシは縦長3段積みに見える。間仕切り壁は、135mm 角杉柱を並べ化粧継ぎし開口等縦長模様としている。垂直方向強調のパターンである。

天井の集積梁は、間仕切り壁と相似のパターンを持って多重に流されている。床は、約 2500mm 角目地でコンクリート金コテ押さえの樹脂塗装である。土足の土間として安定したパターンである。

図4は、例2の模式パターンである。パターンコーディネート研究の折の図5に類似で（床が異なる）、「シャープな」「美しい」「安全」なインテリアに範囲に入るものである。さらに縦形矩形の強調は「上昇感の」「すがすがしい」感覚をもたらしている。

4. 例3：CARD CASTLE／隈研吾建築都市設計事務所

写真3である。壁は石板トラスパターン、床も寸法が大きい石板のトラスパターン、天井はステンレス鏡面板か？で、正方形パターンで構成されている。鏡面のため壁・床のトラスパターンが映り込んでいる。

図6は、例3の模式パターンである。研究の折の図7に類似で、評価は「緊張感の」「閉鎖的な」「危険な」インテリアである。「緊張感の」はともかくとして、「閉鎖的な」「危険な」のイメージを緩和するためにトラスパターンを外して開口部等としている。展示パビリオンとして、展示品がインテリアにパターンに負けないことを祈る。地元の産の石とトラスと言う構造から発想が展開したとしても、パターンコーディネートを意図したことは明らかである。

5. 結論

上述の3例は、パターンコーディネート研究に則した例を取り上げたが、それぞれが計画・設計する建築・インテリアのコンセプトに従って、たとえ構造的・材料的アイデアがあるとしても、パターンコーディネートに配慮していることは明らかである。さらに進めて言うならば、パターンコーディネートすることによって設計コンセプトをより明確にし、豊かなインテリアを創造することが出来ることを証明している。

私論として、インテリア設計・デザインにおいて、カラーコーディネート、マテリアルコーディネート、パターンコーディネートの3コーディネートが大事であり、不可欠であると説くところである。本稿の実証の於いて、パターンコーディネートに必要性が証明さ



写真2. 三重県立熊野古道センター

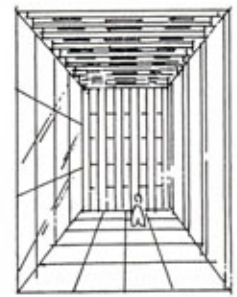


図4. 例2の模式パターン

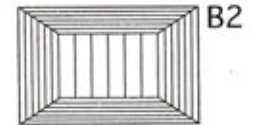


図5. 研究上のB2パターン

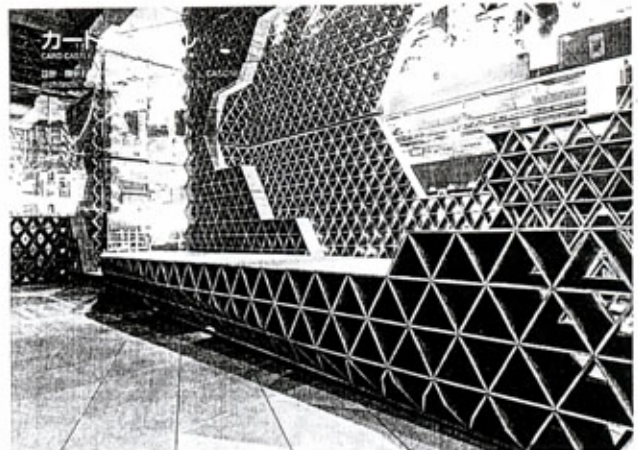


写真3. CARD CASTLE

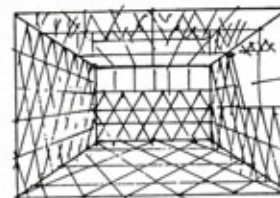


図6. 例3の模式パターン

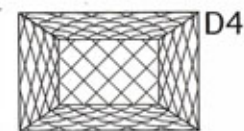


図7. 研究上のパターン

スッキリした 40 単純な 15 閉鎖的な 13 軽い 12	柔らかい 40 緊張感の 21 ラフな 15 不安な 13	スッキリした 30 すがすがしい 22 単純な 19 閉鎖的な 19	固い 25 こまかな 13 単純な 11 合理的な 11	奥深い 23 自然とした 20 素晴らしい 19 重い 19
スッキリした 23 シャープな 15 静かな 18 落ちついた 11	シャープな 20 静的な 10 無機質な 9 美しい 8	安定した 19 単純な 18 落ちついた 12 心安まる 11	危険な 12 緊張感の 9 閉鎖的な 9	自然とした 19 複雑な 18 落ちついた 12 心安まる 11

図8. パターンと形容語句例

れたと考える。

※パターンコーディネート研究の内「パターンと形容語句評価」の一例として図表8を参考に添えて置く。

(*芦屋大学教授 **同非常勤講師)